

家庭訪問が始まります

新学期が始まり一週間余りが過ぎました。子どもたちの明るい笑い声が聞こえる教室をつくりたいですね。4月中に家庭訪問のある学校も多いのではないのでしょうか。何を話したらいいの？と悩んでいる新任の先生へのアドバイスを紹介します。

◆保護者に聞く

家庭訪問は、その多くが保護者との初めての出会いです。緊張しますね。「しっかりしないと！」と思い、ついつい教師からの話が多くなります。しかし考えてみると、

子どもたちのことをよく知っているのは保護者です。

ここは、担任になって時間があまり経っていません。今日はお子さんのことを聞かせて下さい。」と切り出してみても良いでしょう。



そんな教師の話を聞く姿勢に、保護者の人は共感を寄せるものです。

◆いいことも交流

保護者の話に耳を傾けるとともに「こんないいお子さんですね」と学校生活での具体的なエピソードも、一つは伝えたいものです。この一年、子どもたちの成長を共に喜び合えるよう、家庭訪問では、保護者の方とよい出会いをしたいものです。

先輩先生のおすすめ

その1
子どものよいところを教えてもらう

家庭訪問では「お子さんのよいところを教えて

ください」とお願いし、聞いてきたいいろいろな「わが子のよいところ話、じまん話」を全員分、一枚文集に掲載して紹介しました。保護者も、担任も、読んだ子どもたちも、みんながうれしく明るい気持ちになりました。

その2 家庭訪問の前に、校区を下見しておく

できるだけ、約束した時間に訪問するためにも、子どもたちの通学経路がどんな環境なのかを知っておくためにも下見をおすすめします。

お寺や駄菓子屋など自分なりの目印をみつけておくと、気持ちに少し余裕をもって移動ができます。



粘り強い取り組みで 教育条件整備前進 高石

高石市の今年度予算で特別教室・支援学級へのエアコン設置が決まったことは、すでにお知らせした通りです。

昨年度3月にすでに改修されたもの、今年度実施予定の主な教育条件整備は、以下の通りです。



○清高小 体育館の雨漏りの修理 (2019年3月実施)

泉北教組からは、2016年度予算から、「教育要求書」の交渉で足かけ4年に渡り取り上げてきました。卒業式に間に合うようようやく改修されました。しかし、

修理とは別の場所からの雨もりが早速あり、今後の対応が急がれます。

○高陽小 昨年9月の台風被害にあった、体育館の屋根の復旧工事を行う。

○小中全校で、太陽光発電設備の修理 (2019年3月実施)

○小中全校で、無線LAN環境の整備。 普通教室でも児童のタブレット使用が可能になります。

組合に加入して「評価・育成システム」をなくそう！